

【意見】

小水力発電について：沼田市は急峻な地形なのでいたるところに砂防ダムや土地改良などで利用する「水」の「落差」が存在します。太陽光発電と違って24時間365日発電可能です。ドイツでは小水力発電がかなり普及してきたようです。最初の設備投資はかかりますがその後の発電原価（水の位置エネルギー）は無料です。この事業には現在苦境の沼田市土木事業者が関わります。道路は作ってもそこからの収益は期待できませんが、これはその後何十年と利益を生み出します。

電気自動車の普及について：電気自動車は燃費が安いのですがその航続距離に問題があります。それが普及の妨げになっています。そこで電気自動車のためのインフラの整備を行いません。電車のような架線からや、路面からなど走りながら充電できるインフラを整備します。料金はETCをつかい、無線で精算します。これが難しい場合は充電スタンドを設置したり、ガソリンスタンドに充電済みバッテリーを備えていただいたり・・・みんなで工夫してシステムを構築します。これは自動車メーカー、電気事業者の参入が期待できます。沼田市の中心部の商業施設は活気を取り戻すでしょう。研究所の誘致、試乗試験結果の公表をすることで沼田市住民には格安で電気自動車が購入できればなお良いです笑。日本で最初にすることに意味があります。電気自動車のインフラ交通システムを構築します。自動車は沼田市に必需品なので各家庭の自動車による出費（環境優遇による税金、ガソリン代等の減少）がおさえられ可処分所得が増えます。可処分所得の増加は地域経済に良い結果をもたらします。前に述べた水力発電で得た利益も市民に還元すると電気料が安くなり、各家庭でオール電化、太陽光発電、家庭用燃焼・・・

奇想天外と思われるかもしれませんが、10年後には電気自動車はかなり普及される事は明白です。

男：30代：市内在住

【回答】

環境問題に経済・雇用対策まで併せた貴重なご意見ありがとうございます。太陽光発電や水力発電は、新エネルギーの中でも比較的容易に地球温暖化対策に寄与できるものと考えます。また、水源県である群馬県は包蔵水力が全国8位で、まだ四分の一が未開発というデータもあります。（理論値：資源エネルギー庁）また、設置費用も200～300万円と比較的安価であり、設置による環境学習・啓発面での効果も期待できます。しかし、水利権の問題など課題もありますので、その点も含めた研究を進めてまいりたいと考えております。

温暖化問題が地球規模で深刻な課題となっている中、その主要因とされるCO2などの温室効果ガスの排出抑制に有効である電気自動車などに係るインフラが構築され、その普及が促進されれば素晴らしいことだと考えます。国では、「低炭素社会づくり行動計画」（平成20年7月閣議決定）において「次世代自動車（ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車、CNG自動車等）について、2020年までに新車販売のうち2台に1台の割合で導入するという野心的な目標の実現を目指す」こととしており、費用の一部支援など導入支援の充実や、燃料電池等の技術開発による高性能化や低価格化を進めるとしています。ご意見については、現段階では電気自動車の普及見通し等が未知数であり、本市の財政事情を踏まえると、それに対して先行投資

を行うのは厳しい状況ではありますが、国等の動向を注視しながら、研究してまいりたいと考えております。

担当：総務部企画課・民生部生活課